



せきまえ防災

第3号の発行にあたり

2月13日夜、福島県沖を震源とする最大震度6強という地震が発生し、長く続く揺れに10年前を思い出した方も多かったのではないのでしょうか？

第1号でもお伝えしましたが、関前地区は比較的地盤が安定していて、首都直下地震の想定でも震度6弱と想定されており、今回の地震でいえば石巻辺りを襲った震度想定となることから、家屋損壊の被害想定との参考になるのではないかと思います。但し、実際には発生時間帯により火災発生頻度も上がり、家屋損壊を免れたとしても安心はできないと思った方が良いでしょう。

今回、関前防災会では関前地区の地域設置消火器の場所を調べ、より細かい情報を集めた「関前地区防災マップ」(本誌裏面)を作ってみました。

お近くの消火器の場所の確認しておいて、いざというときの初期消火にお役立てください。

地域設置消火器やAED(自動体外式除細動器)について

一般家庭では、いきなり大火災になることは滅多にありません。最初の出火は小さいので、いかに落ち着いて速やかに対処できるかが重要になってきます。そしてこの初期消火で最も有効であると言われているのが消火器です。

武蔵野市では、地震発生時の延焼火災を防止するため、また平常時の火災の初期消火対策として、市内の道路沿いに60メートル間隔を目標に地域設置消火器を配置させております。

これらの消火器は「武蔵野市民防災協会」所属の地域の防災推進員によって点検・調査され、市民がいつでも利用できる状態に保たれており、初期消火

活動の為にあればどなたでも使用可能です。使用方法も本体に書いてありますが、やはり経験がないと躊躇してしまうかもしれませんので防災訓練等で経験しておくことで安心ですね。お近くで見当たらないときには当防災会にご相談ください。

設置のお約束はできませんが、地域の防災推進員にその旨を伝えるようにいたします。

また、武蔵野市では「家庭用消火器等購入費補助制度」がありますので、ご自宅の安全・安心のためにも是非、ご検討ください。



武蔵野市民防災協会：<http://www.shimin-bousai.jp/ecs/v/front/bin/home.phtml>

家庭用消火器等購入費補助制度：http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/anzen_anshin/bosai/1005971.html

都内の救急車到着までの平均所要時間は約8分といわれております。そして心臓や呼吸が止まった人の命が助かる可能性は10分間で急激に少なくなっていく。救急車が到着するまでの間にその場に居合わせた誰かが心肺蘇生処置(胸骨圧迫と人工呼吸)ができれば、命を救うことができる可能性が上がります。AED(自動体外式除細動器)というのは痙攣を起こし正常な拍動をできなくなった心臓を電気ショックで痙攣を停止させる機械です。



関前地区では学校やコミセンを中心に9箇所の設置が確認できました。

「心肺停止状態の傷病者に対する救命率の違い」

- 救急車を呼び何もしない場合 9.3%
- 救急車+胸骨圧迫の場合 17.3%
- 救急車+胸骨圧迫+AED使用 53.6%

出典:「令和2年版 救急・救助の現況」

心肺蘇生処置もAEDもやはり経験がないと躊躇してしまいます。これも防災訓練等で経験することができます。皆さんや皆さんの家族の命を救うためにも是非、経験をしておきましょう。

関前防災会 代表 島田豊文

51-2030

<https://sekimaebousai.web.fc2.com/>